

平成25年度  
新潟市の地域福祉に関するアンケート調査

「その他」の記載内容一覧  
(記載分のみ掲載)



### 問3の「その他」の内容

- ◆ 派遣
- ◆ 国民年金
- ◆ 宿直員
- ◆ 麦っ子ワークス
- ◆ 病気通院中
- ◆ 年金
- ◆ 運送業
- ◆ 年金
- ◆ 障害者福祉サービス
- ◆ 頼まれた時だけ、半日位、掃除の仕事をしている。
- ◆ 年金
- ◆ 運転手
- ◆ 派遣
- ◆ 地方公営企業、非常勤嘱託職員
- ◆ 年金
- ◆ 官庁非常勤
- ◆ 賃貸業
- ◆ 嘱託職員
- ◆ 小規模（通）を利用させて頂いております。
- ◆ 委託
- ◆ 6 と実家の母の介護
- ◆ 派遣社員
- ◆ 派遣社員
- ◆ 兼業農家

### 問4の「その他」の内容

- ◆ 兄弟
- ◆ 姉弟
- ◆ 夫婦、弟
- ◆ 家族3人
- ◆ 孫
- ◆ 同せい
- ◆ 夫婦と妻の妹
- ◆ 4世代
- ◆ 4世代
- ◆ 妹と私
- ◆ 夫妻、主人の妹、3名
- ◆ 4世代
- ◆ 4世代
- ◆ 親戚

- ◆ 4 世代（曾祖父母、祖父母、親と子）
- ◆ 4 世代 親、子、孫、曾孫
- ◆ 親子、叔父夫婦、従業員親子
- ◆ 祖父、祖母
- ◆ 姉
- ◆ 4 世代
- ◆ 祖母、両親、子
- ◆ 姉と二人で
- ◆ 同居人 2 人
- ◆ 家族 1 人は長期入院中で単身と同じです。
- ◆ 4 世代
- ◆ 4 世代
- ◆ 4 世代
- ◆ 兄と 2 人
- ◆ 夫婦と義兄 1 人
- ◆ 4 世代
- ◆ 親、兄弟、姪
- ◆ 4 世代
- ◆ 親、夫、子、兄弟
- ◆ 交際者
- ◆ 四世代

#### 問5の「その他」の内容

- ◆ 特別養護老人ホーム
- ◆ 社宅
- ◆ 社宅
- ◆ 社宅
- ◆ 社宅
- ◆ 市営住宅
- ◆ 施設入所中
- ◆ 土地は借地、家は自分のもの
- ◆ 寮住込み
- ◆ 寮
- ◆ メゾネット
- ◆ 学生寮
- ◆ 有料老人ホーム
- ◆ 実家
- ◆ 市営住宅
- ◆ 介護施設

## 問8の「その他」の内容

- ◆ 会社の倒産しないか
- ◆ 若い人達が、職に就ける事。(アルバイト、派けんでなく)
- ◆ 官民、公務、自営の経済的な格差拡大の大きさが気になる
- ◆ 実家に借金があるので、何とかしてあげたいが自分も精神的病気があり、色々助けてあげる事が出来ない
- ◆ 同居しながらまるで赤の他人
- ◆ 運転免許更新
- ◆ 老後のこと
- ◆ 会社の業績
- ◆ 日本の教育について不安※答え探しの教育になっている。これでは厳しい
- ◆ 子供のいじめ
- ◆ この国の未来、あまりにも金の話ばかり多過ぎる
- ◆ 地震、津波対策等が区、自治会で確立していないこと。
- ◆ 柏崎原発の稼働について
- ◆ 隣家との土地の境界の件
- ◆ 夫婦のみの生活なので、どちらかが病気で倒れた場合、看病をしてくれる人がいなくて困ることがあります。夜勤をしているので妻が具合が悪くなっても直ぐに戻る事も出来ない事もあるので、夜間駆けつけてくれる人がいてくれるかしばらくの間保護してくれる場所があれば良いと思います。
- ◆ 重度の知的障害(ダウン症)の娘も30代後半になり、これからの障害者福祉が、どのようになってしまうか心配
- ◆ 隣人とのトラブル
- ◆ 年金
- ◆ 義親、義兄弟姉妹との関係、つきあい方や親せきつき合い等の悩みや不安。
- ◆ 空家と高齢者単身の世帯が多いこと。
- ◆ 代々の墓
- ◆ これから先の事
- ◆ 結婚当初からの姑のイジメ、嫌がらせ。
- ◆ 家庭と仕事の両立について
- ◆ 孫の将来
- ◆ 税金高すぎ(むだづかいが多すぎる!)
- ◆ 近くに歩いて行けるスーパーや医者がないため、老後、車を運転できなくなった場合、不安である。
- ◆ (1人ぐらしの実家(南魚沼市)の義姉の介護責任を負っているため、子供はなしで兄弟姉妹も高齢遠きよりのため)認知症ありで、車で往復中約2年。
- ◆ 死にたくない!
- ◆ 夫婦のみのため介護に関すること
- ◆ 親の仕事の事。個人農家が不利。年金だけでは暮らせるはずがない。
- ◆ 町に出掛けるには、バスに乗るしかないのですが、殆んど1時間に1本です。せめて30分に1本あると嬉しいのですが。それも古いタイプのバスです。加齢と共にステップを上るのも下りるのも大変です。1日も早く新しいタイプのフラットな出入口のバスのみになるといいと思います。二車輻連結の高価なバス導入の前に、

すべてのバスが新型になる方が先だと思うのですが、中心だけを充実させるだけでなく過疎地のこともお考えいただきたいと思います。

- ◆ 病気になった時です
- ◆ 未婚母子に対する保育料など
- ◆ 1人暮らしの為、自分の死んだ時の処理が不安
- ◆ 学校の休業中の子供の対応について
- ◆ 認知症にて、2秒後には忘れていきますので。
- ◆ 誹謗と中傷
- ◆ 体調・病気
- ◆ 特定疾患があり徐々に不自由になっていますが、障害認定を受けるまでではなく、仕事で収入を得ることが難しい。将来への不安
- ◆ 就労
- ◆ 子供が2人目が欲しいと思っているが、共働きで、産休、育休の事を考えると（2度目）会社に対して申し訳なく思い、なかなか2人目にふみきれない。子供を1歳で保育園に入れると、3歳頃まで毎日薬をのませないといけない位、風邪や病気になるので、会社を早退しなければならないから。
- ◆ 11. 発達障害あります
- ◆ 新潟の街の将来の姿、街の現状
- ◆ 人口減少
- ◆ 買物難民地域になりつつある事
- ◆ 就職活動

#### 問9の「その他」の内容

- ◆ 家族、子供
- ◆ 専門職に相談し（有料）解決する。
- ◆ 家族
- ◆ 病院デイケア
- ◆ 夫・子供
- ◆ 子
- ◆ 兄弟
- ◆ 兄弟
- ◆ 県警察、弁護士
- ◆ ケアマネージャー
- ◆ 家族
- ◆ 家族
- ◆ 警察困りごと相談
- ◆ 実の妹
- ◆ 家族
- ◆ セミナーに出席する
- ◆ 子供に
- ◆ 子供、姉妹
- ◆ 妹

- ◆ 施設の職員が相談に乗ってくれる
- ◆ 困った事項によって変わる
- ◆ 親せき（兄弟）
- ◆ 主人
- ◆ 内妻
- ◆ インターネットで検索してみる
- ◆ 保育園の先生
- ◆ 恩師
- ◆ 弁護士や、社労士、税理士など専門家
- ◆ 兄
- ◆ 保育園の先生
- ◆ 困った事に応じて、相談するところが違う
- ◆ だれかに相談したいけど相談したい人がいない
- ◆ 相談したくても話しづらい。公共機関などに相談するのが一番良いとわかっているが敷居も高く、深刻になる前にもっと気軽に話せる場所があるといいのと思う。
- ◆ 区役所で処の扉をノックしたら良いか聞いてから考える
- ◆ 家族
- ◆ 弟や妹、主人
- ◆ ケースワーカー
- ◆ 施設の職員
- ◆ 学校の先生
- ◆ 家族
- ◆ 寺の住職
- ◆ インターネット情報
- ◆ ケアマネージャー
- ◆ 信頼している先輩
- ◆ サポートセンター
- ◆ 大学の教員
- ◆ 近くの兄弟
- ◆ 教会の牧師さん
- ◆ 夫
- ◆ 兄弟
- ◆ 問題に対する知識を持つ人
- ◆ 妹
- ◆ 相談の内容によって相談する人が異なるのでは……

### 問 13 の「その他」の内容

- ◆ お金の勉強について
- ◆ 老・老介護について
- ◆ 高齢者施設の入所可能状況、待機状況
- ◆ 社会保障

- ◆ 障がい者の社設への就職・職員募集
- ◆ 今まで深く考えた事がなかった
- ◆ 老後の生活をどのような施設を費用面を含めて利用出来るか
- ◆ 高齢者の経済的支援について

#### 問 14 の「その他」の内容

- ◆ 家族から
- ◆ 職場の回覧物
- ◆ 学校のおたより
- ◆ 民生委員さんから
- ◆ 病院のケースワーカーなどから。
- ◆ 父親
- ◆ 旧役場に行って指示をあおぐ
- ◆ 職場
- ◆ 会社より
- ◆ チラシ系
- ◆ 知人から
- ◆ 医師会、薬剤師会等の案内
- ◆ 防災無線
- ◆ 大学の広報（福祉の大学なので）
- ◆ 家族
- ◆ 学校からのプリント
- ◆ 職場の人
- ◆ 保育園
- ◆ 宗教団体での活動で知った
- ◆ 「業務上」福祉関係の仕事をしているため
- ◆ 職場など
- ◆ 防災無線
- ◆ 配偶者
- ◆ 職場で
- ◆ はまぐみ、JOIN、RAIS、はぐはぐ、生涯学習センター
- ◆ デイケア
- ◆ 大学の教員から
- ◆ スキップ（子育て情報誌）
- ◆ 妹
- ◆ 痴人がボランティアを行っている事を知って。身近にいる人の話を聞いて
- ◆ 友人

#### 問 15 の「その他」の内容

- ◆ ボランティア等に対する意識の変化

- ◆ 主旨、参加が必要と思わせる説明
- ◆ 誘ってくれる人
- ◆ 肉体的条件で参加出来ない。
- ◆ 全盲の為参加したくともできない
- ◆ 高齢で参加出来ず
- ◆ 年齢からして自分のことで一杯。●●に他に迷惑をかけないですむか。
- ◆ 情報
- ◆ 広報等も mail で情報発信願いたい
- ◆ 情報。どのボランティアがあるか、知るすべがもっとあると良い
- ◆ 現状の福祉行政は過剰である
- ◆ 自分が健康であること。
- ◆ 自分の気持ちの問題だと思います
- ◆ 参加しない。
- ◆ 本人のやる気
- ◆ 一緒に活動する仲間
- ◆ もので釣る
- ◆ 高齢のため考えた事がない
- ◆ より細やかな情報提供。困っている人の事を伝える●●
- ◆ その存在
- ◆ 募集の情報
- ◆ 体力に自信があること
- ◆ 活動する本人の意識の持ち方（そのための講習会）
- ◆ 教育、ボランティア活動が価値あること。尊敬されることを教えること。
- ◆ 自分自身が行動できる身体・精神
- ◆ 弁当等の食事
- ◆ 職場の制度（休暇等）
- ◆ 広報
- ◆ 子供をみてもらえる
- ◆ そもそも、地域活動の内容を全く知らない。
- ◆ 幼い頃からの教育
- ◆ 宣伝、アピール
- ◆ 活動を行う上での情報が少ないし、取れない
- ◆ どこで何を行っているかをもっと広報する
- ◆ デパートやショッピングセンターに、ボランティアの貼り紙をし、気軽に活動を知ることが出来るような環境
- ◆ どこに相談すれば良いか分からない人は多いので、小、中、高校生などに、どんどん体験などをさせるべき
- ◆ 子供が小さいので、託児がないと参加できない。仕事の休みがなく参加できない。
- ◆ 市や区の受け入れてくれる姿勢
- ◆ 仕事育児に追われる日々なので、精神的余裕
- ◆ 動機、きっかけ、けっこう強くないとね
- ◆ 職場の理解

- ◆ 精神的な余裕
- ◆ 本人の積極性
- ◆ 仕事や経済面での余裕、プラス時間の余裕
- ◆ 80才を過ぎているので考えられません。
- ◆ どこで何をやっているのかという情報がわかりやすい所にある
- ◆ ボランティアを必要としているところが、常にわかるようにしておくこと。
- ◆ 税金をムダに使うバカ共を何とかしろ
- ◆ 経済的余裕もなければボランティアは成立しない
- ◆ 病人が長い間居るので感心すら持てない
- ◆ しらない。
- ◆ 地域とは町内会レベル？区レベル？市レベル？近所との助け合いは必要。町内の外になるとボランティア等はムズかしいのでは？
- ◆ 精神的な余裕があること
- ◆ TV・ラジオ等のメディアで広告、アピール
- ◆ 問題がずれるかもしれませんが参加される人は口の堅い人を選んで欲しい。特に女の方は…。
- ◆ 心臓のカテテル処置をしており、又ガンの手術もし参加不可
- ◆ 時季や時間などに制限がある人にとっては長期(年間)事業計画がわかると助かる。
- ◆ 広報の必要。どこで何をしているか不明
- ◆ ボランティア等の情報を広く知らせること。
- ◆ 興味がない
- ◆ 自身に障害有り。参加は難しいように思う。
- ◆ 問14、上記③④を含情報入手が簡単に出来る機関が必要。
- ◆ 十分な情報を得る為の広範囲にわたる周知の為の広告
- ◆ 生活に必死で他人の事まで考えていられないのが現状です。
- ◆ 自分自身が、参加することが必要であると思う心。
- ◆ 活動の参加意欲を高め、すすめる人の力が必要
- ◆ 情報の公開のやり方、宣伝方法、会社に協力してもらうなど
- ◆ 情報発信してくれること
- ◆ 当人のやる気
- ◆ 妻が要介護の為外にでれない
- ◆ 普段あまり気がつかないかも。ボランティア活動も普段深く考える機械、身近な人が行っているのを知って深く考える事になると思う。自分もやってみようと思う。テレビや回覧とか地域ではいつもしているからそのままいつも通り。でも身近な人、いー気になる人が行っていると深く考える。
- ◆ メディアを使った情報提供、放送する時間も働いている年代が見たり聞いたりできる時間にも伝える努力をしてほしい。昼頃に放送されたりしても見るのは年配者だけと思う。テレビのニュースやラジオ局と協力して情報提供する回数を増やすだけでも違うと思う。
- ◆ 病気の為

#### 問 16-1 の「その他」の内容

- ◆ してあげていると思いがらしている人だらけであり自己満足のためと思われる人が多すぎる。
- ◆ 親身になる人が最近は少ない。相談しても「〇〇」だからと理由を付けられ解決しない。最初から時間のムダ。

#### 問 17 の「その他」の内容

- ◆ 高齢者が参加出来る活動がない？
- ◆ 献血
- ◆ 東区まごころヘルプでボランティアを受けている
- ◆ 元旦マラソン
- ◆ ゴミステーションの掃除。
- ◆ 余り出たくない
- ◆ 座談会
- ◆ 以前にした事があるが今はしない。
- ◆ 企業が行っている無料の KIDS イベント
- ◆ 参加したいのですが、体が悪くて出られない
- ◆ 子供が小さいときは参加したが今はまったくくない
- ◆ 組長ですので参加しております（マンションの理事長をしておりますので）
- ◆ 主人が、半身マヒなので、いつもそばに付いているもので
- ◆ 老人である
- ◆ 集合住宅での行事に参加（講演会・展覧会・懇談会・講演会 etc）
- ◆ 消防団
- ◆ 病人が居るため参加出来ない
- ◆ 下水（ドブ）掃除しても周りは見てもみぬ振り
- ◆ 役員がまわってきた時は参加します。
- ◆ 東北大震災の被災者に炊出をした事がある。
- ◆ 近くの学校への販売活動
- ◆ 身体を壊す以前に参加
- ◆ 一時自治会に役員として参加したことがある。
- ◆ 余裕がありません。但し、「情報の拡散」には協力的でありたいと思います。
- ◆ 電話相談、成年後見
- ◆ 動物の里親さがし
- ◆ 20 年前は参加したことがある。

#### 問 20⑩の「その他」の内容

- ◆ パッチワークを教えたい。
- ◆ 声かけや、相談が
- ◆ 高齢で出来る事がない？
- ◆ 身の回りの縫いもの（フトン）

- ◆ 夜さわいでいる若者などの注意
- ◆ やりたいが見えないのでできない
- ◆ 老人でできないことが多い。健康ならば協力できるかも
- ◆ ケースバイケース
- ◆ 除草、木々の手入れ
- ◆ 労々介護で
- ◆ あまり関係ないのばかり
- ◆ 介護など
- ◆ 年よりで、できません
- ◆ 常時の身守り
- ◆ 道案内
- ◆ 朝早いので時間が無いです
- ◆ 体調不良で何も協力出来ず、残念です。
- ◆ 相続、成年後見の相談
- ◆ 看病
- ◆ 上記以外のすべての事
- ◆ 修理、パソコンなどの使い方を教える
- ◆ 土日休みなので休日なら何でも
- ◆ 病院・店への車での送迎
- ◆ 高齢の為、自分のこともままならない
- ◆ マッサージなど
- ◆ 高令の為なにも出来ない
- ◆ なやみ、困っている話、聞くだけ
- ◆ パソコン
- ◆ 庭木の水やり
- ◆ 庭の除草、樹木のせんてい
- ◆ 家の前の道は、除雪車が来ない。まずは、そこを何とかして下さい。
- ◆ 老人では無理
- ◆ PCのメンテ
- ◆ 自分がやっていること
- ◆ 洗たく
- ◆ 新聞をとりにいく
- ◆ 障害を持っているので移動が困難なためにほとんど出来ない。
- ◆ 車にのれますので少しは何でも出来ると思います。
- ◆ 仕事をしているので時間的に制限が有るかも
- ◆ 病気の為
- ◆ 進路相談のみ

## 問 21 の「その他」の内容

- ◆ 働いている人への支援。問 18 も問 20 も、働き方や職場にもよるでしょうが、現実、働いている人にとっては、難しいことも多くあるように思うのですが…。働き盛り

の人達が、地域の活動などにおいても、エネルギーを沢山使える年代だと思うのですが、その余裕がないように感じます。しなければいけないこと、支える必要がある方達が増える一方で、支えてくれる人が疲弊し、減っているような印象があります。

- ◆ 近所に、目が、見えなく、耳も遠い、老人が、1人暮らしを、しています。いつも、どうしているか、心配です。本人は、「きままな生活を、のぞんでいるようです」このような、人が、ふえると、火災や、防犯が、心配です。
- ◆ 住民の必要最小限の情報が自治会、コミュニティに渡っていること※個人情報保護法で動きがとれない場合がある。
- ◆ 住民1人1人に平等に、声をかけてほしい。サークル活動をしない。
- ◆ 市・区が責任をはたす
- ◆ 全部が大切であると思うが、そもそも住民を見ることが少ない。路上に人がいない！！
- ◆ 若いならばできるかも。健康ならばできるかも。
- ◆ 地域活動がほとんどない現実の中、難しい
- ◆ 若い人が多くいる事
- ◆ お金の教育を小学生から行うこと※絶対必要だから
- ◆ リーダー的存在
- ◆ 各種サービスの充実と共に、そのサービスに行ける交通手段が確保されている
- ◆ 現状です
- ◆ 各家庭に
- ◆ 経済の発展、低所得者へのサポート
- ◆ 差別をなくす。よそ者でも、仲良くする
- ◆ 店
- ◆ 交通機関（バス等）の充実
- ◆ 緊急通報センター（(株)コヤマ）に加入している。
- ◆ 従来の居住者と転勤族との交流の場が必要
- ◆ 地域に気軽に相談し、改善してくれる人材
- ◆ 制度の整備を急ぐ余り、自由意志、自己決定が犠牲にならないようにすること
- ◆ “助け合いをしよう”と思える環境や人材がいる
- ◆ 夫が障がい者ですので、福祉●課に行く事が多いです。
- ◆ ボランティア等に対しての支払い制度をなくす。（ファミサポなどで発せいする時間料金がボランティアでの活動なのに金せんがかかっているのがおかしい！）ボランティアはあくまでボランティアで金せんがかかってくる事は事業になります。
- ◆ 町内のコミュニケーションが均一にとれていること
- ◆ 新通小学校を分け、教師が少しでも目のいき届く教育を！！マンモス校の子供ははじめも多い。
- ◆ アパートなどに入居している人にも祭りやイベントの誘いの声をかけてほしい
- ◆ 税金をムダにつかうな！
- ◆ 行政の相談窓口を広げる相談しやすい雰囲気にして気軽に相談できる様にして欲しい。対応も親身になって受けて欲しい。
- ◆ 高齢者の交通機関がほしい。タクシーだけだともまります
- ◆ 住民の交流

- ◆ 私の自治会では婦人部も老人会も切られてなにもつながりがない
- ◆ 歳をとったら、車がないとどこにも食料を買う場所がない。(人にたよらないように生きていくために) 歳をとれば、運転できなくなる。
- ◆ 高齢者の買い物をする店舗が、身近にあること。
- ◆ 経済的、時間も含めての余裕
- ◆ 町内会長、自治会長の資質
- ◆ 子供の時に教育勅語を教える
- ◆ 景気が良くなる
- ◆ 近所づきあいをせずとも日々の生活に問題は生じないと思える状況があります。何が必要なかはわかりませんが、近所づき合いが大切であると思えるようになることが必要ですね。誰かからの押しつけではなく
- ◆ 子供が近くにおらず一人暮らしの高齢者が住生活の中で不便に感じている事（例…手の届かないところの一寸した物の交換）に対応受付出来る窓口
- ◆ 住民の声を聞く機会があること
- ◆ もともと住んでいなかった人達が集る住宅街はそれぞれ、習慣も風習も考え方も違う。昔のような近所づきあいでどうかしようとするのには無理がある。それでも必要最低限の取り決めは必要になる。その線引きが必要だと思う。
- ◆ 子供を育てやすい環境にしてほしい（子育て世代の税金軽減や高校無償化の継続など）

## 問 22 の「その他」の内容

- ◆ 自我のみ強い住民ばかり。住みよい地域になれる現実はない。
- ◆ あまりにも個人主義が優先して、そんなにきれい事ではすまされない
- ◆ お金に関する教育を行うこと（セミナー）学校等で※小学生からお金の勉強を行うこと
- ◆ 質問がナンセンス
- ◆ 区長、自治会長等の方針が全員に周知され、共感出来る地域。
- ◆ コンビニ、公園
- ◆ 高齢者が減る街
- ◆ 住民同士のつながり
- ◆ 交通が便利でないと、自家用車に頼っている。
- ◆ 旧 402 号線だが、大型薬局があるとよい。坂を上るのが大変ゆえ。小針に 1 件あるのみ。
- ◆ 1~7 全てあてはまる。
- ◆ 自治会制度がなければいい、有志だけで組織を造ればいい。自治会自体からプレッシャーを感じる。
- ◆ めんどくさいものはいらない
- ◆ 転勤族が受け入れられるまち、ペット可の住宅が多い町
- ◆ 今でも十分住みやすい
- ◆ 現在、住みやすいと思っています
- ◆ 近所づきあいも無く、皆、個人主義の割に、家が密集（敷地いっぱい）に建っているので住みづらい。とても気を使うし、安心できない。

- ◆ 近所同士の声かけなどが増えてくるといいと思います。
- ◆ 税金のムダ使いやめろ
- ◆ 上記すべて
- ◆ 全ての間に通じますが、自分すら理解していない自分がどうすればいいかなんてわかりません。
- ◆ 店がある所。いなかすぎて、先行き不安。なにもなさすぎる。
- ◆ 自然豊かで特色ある地域文化をもった町
- ◆ ありもしないうわさ話をあちこちでする非人道的な住民の排除（心身的な意味で）
- ◆ 経済的な心配をせずに生きていけるまち。
- ◆ あたりまえのことです
- ◆ 生活に関わる機関やお店等が近くにあること
- ◆ 若者が定着し、生活できる職場の確保、市行政の課題かどうかは？だが。
- ◆ 住民の1人ひとりが社会福祉を理解し、ちょっとした思いやりの仕草が出来る街。

### 問 23 の「その他」の内容

- ◆ 相談・手続等の窓口でのワンストップ行政サービスの拡充
- ◆ 教育との連携
- ◆ 地域の自主的な活動を促進する体制と資金の充実
- ◆ 住民が相談に出向いたら、親切な対応が出来る職員教育
- ◆ 連結バスを中止して高齢者、住民が買い物に行きやすくなるように小型バスの路線を増して下さい。
- ◆ 福祉だけが行政の仕事でなく、もっと別な事も行政の仕事と思う
- ◆ 神奈川県相模原市、東京都町田市に学ぶべき
- ◆ 情報リテラシーを上げること（情弱にならないために）。だまされないために
- ◆ 高齢者がゆとりのある暮らしができる年金
- ◆ 介護施設を多く作って欲しい
- ◆ 医療費の軽減
- ◆ 他の地域からきたが、新潟市は人と人とのつながりが少ない。地域の人があつまると、祭りも運動会も、地域イベントはないし、そういうイベントで人をかりだすことも必要
- ◆ 福祉に力を入れ高齢者が長生きされると困るんです
- ◆ 他県から来た人にでも、仲良くできる環境づくり
- ◆ 地元特産の観光応援
- ◆ 福祉サービスの内容の周知
- ◆ ヘルパーの給料を上げる
- ◆ 町内で車いすを用意すべき。
- ◆ 子育て支援の具体策、医療自己負担ゼロ、待機児童ゼロ、子供増
- ◆ 市民税が少ない事、ムダの仕事をなくす事、BRT のアンケートを取り。BRT のアンケートはなぜ取らないのか、福祉以上に大事な事です。いまからでもおそくないです。大事な事はアンケートを取って下さい。市議員は BRT の決定で反対者はいないのか？バスの市内での乗りかえは、時間がかかる事は明白で朝の通勤時大変になると思います。新潟交通に市からの補助をする等で考えなおす方が良くと思います。

- ◆ 民官からの区長採用
- ◆ 索引出来る人を各区に配置すること
- ◆ サービスを必要な人と援助できる人とをつなげる役割の人の育成
- ◆ 地域、福祉とは関係のない内容ですが、私は、どちらかといえば都会の方から嫁いで来たんですが、田舎特有の生活習慣に（仕方ないんでしょうが）なじめません。（今年で18年目です。）なので近所で気軽に話せる友達が一人もいません。（仕事をしているので今は何とかできるのでしょうけれど。）もう少し、こういう様な新潟市でも外れの田舎の方の地域の関わりなどの交流の場を充実させて頂けたら、情報の提供など多くあればな～と願います。
- ◆ CMを使ったり市民全員が共有できるように
- ◆ 福祉施設を作る補助金が、新潟の福祉法人に出されるべきだと思います。『葵会』の様な、帝国ホテルの10Fワンフロアを使い、運営資金に困っているという、うわさのある所に何回も補助金を出して、新潟の福祉団体や、建設に関わる業者等に国からの予算（税）が地域に行きとどかない所を見ていると、市は何をしているのか？と思います。残念です。新潟の為に地域の為に使えるお金を、県外の企業に使用し地域で使われて、納税される（企業税等含む）べきお金を、みすみす県外へ流出している所を見ていると「何も考えてないのかな？」と、心配になります。葵会のいいうわさは新潟では聞いた事ありません。
- ◆ 民営化
- ◆ 地域サービス差別
- ◆ 5. の設置より、市民に対するアプローチが必要
- ◆ 目に見えるハード面、ソフト面の整備と充実。もっとお金をかけるべき！
- ◆ 地域独自のサービスの充実
- ◆ 住民の協力をむやみに依存しない行政
- ◆ 保育所の人材、子どもに対する人的物的環境の見直し
- ◆ 無駄使いのチェック（税金の）
- ◆ 最近は自主的な行動が重要視され、行政が引っ込み過ぎる面も感じます。特に高齢介護をやってみて、事務的手つづき、サービスに関する選択など、未経験者は、なれるまでに心身共に苦労します。
- ◆ 町内にいつでも、きがるにあつまるところがあるといい。
- ◆ 子育て支援、少子高齢化していく社会の中で、老人の方にばかり税金を使うのではなく、これからの将来を担う子供に税金を使い、子供を育てる為の福祉に力を注ぐべきではないでしょうか。保育園の充実、子供をあずける場所を多くしていく事で地域の活性化につながり、それがやがて老人にもかえってくるものだと思っています。
- ◆ 税金をムダな人けん費やムダなものにつかわず必要なところにつかう！！
- ◆ 新潟市の福祉の取り組みが分からない。もっと情報発信すべき
- ◆ 地域の力を信じて盛り上げていくことが必要。あくまで後追しであり、実行するのは地域であると思う。
- ◆ 自治会費が地域によって異なる。寄付など新潟市に支払うものを考慮して定額を市で提示してもらい、一定額を決めてほしい。
- ◆ 課題などを共有する場所や機会があっても、それが実際住民に反映されることはない。上の者止まりだと思います。公民館事業等、参加する人は決まった人で閉鎖的だと思います。（スタッフとして）もっと若い人も受け入れる様にすればいいのに、地域の古い住民で固まっているところがあり、新しい住民がなじめないのもわかります。

- ◆ 公民館～市民プラザの時間延長～22 時頃
- ◆ 未婚母子でも住みやすい社会。正直力を入れてくれれば少子化は防げる
- ◆ 税金をムダに使うのをやめろ。バス BLT とかムダ！やめろ。もっとアタマつかえ
- ◆ 小、中、高の授業料ただ
- ◆ ボランティアの評価や、テレビ・インターネット等での紹介をする。
- ◆ 市の予算の使途・配分の見直し。例えば、生活保護費が財政を圧迫しすぎている。新規はもちろん、更新時の審査についてももっと厳格にすべき。
- ◆ 今の新潟にはむりだと思う。
- ◆ ボランティアの力に頼らない政策
- ◆ 人づくり、リーダーシップが出来る人を育成する。
- ◆ 本当に市民が必要なサービスを行政は考えて下さい。連結バスはいりません。何年かすると必ず撤退するはず誰も責任取らず最後は税金投入駅南プラーカと一緒に！！既存の物で頭使って考えて下さい。小市民
- ◆ 高齢になっても安心して暮らせる地域
- ◆ 若い人を地域の活動に巻き込むこと
- ◆ 交通網の整備
- ◆ 介護施設の確保と利用者の視線からの利便性の指導・改善。
- ◆ 何事においても対応窓口等の周知活動の徹底（役所が思ってる程住民には知られていない）
- ◆ できれば、介護施設、保育園、社協、地域医療、小学校が、ひとつにまとまった様なものはできないか、と思っています。育児も介護も、仕事を抱えている人は多いと思います。ひとつになってくれたら、どれだけたすかるか。また、それぞれ別個にあった設備を共用化することで、経費や設備投資は抑えられませんか？例えば、給食設備、図書室（館）、音楽室、体育館、多目的ホールや庭の共用、プールなど温水プールにすれば、リハビリにも使えるでしょう。一部の燃料をプロパンにして、太陽光パネルを置き、緊急用の自家井戸もあれば、災害時に心強いものになると思いますし、家族の安否確認も早いでしょう。空き教室が増えたから廃校ではなく、上記の様に活用できると思いますが・・・「できない理由より、実現できる方法を」で、お願いします。
- ◆ 地域の結びつきが大切であると思えるような施策をお願いします。新潟市は市街地の拡大を容認していますがそれが、本当に住民の利益につながるのか、はなはだ疑問です。分数は教●につながり、そのことは心に現れます。現在の市街地開発施策は、将来的に財政圧迫につながり、住み良い地域は大きな負担になるでしょう。
- ◆ 取り組み成果が具体的に見えるようにすること。
- ◆ はぐはぐの様な施設をもっと、増やすべき、就学後も支援してくれる施設が必要。1ヶ月に1回の支援では、少なすぎる。初回の相談日が3、4ヶ月待ちでは、いずれ、支援を受けられない子もでてくるのでは？
- ◆ 福祉といっても何となし頭では何かそう言ったものがあるのだろうとは思っていましたがじゃあ実際に何があるのか…？と言われてれば何もわかっていない。いずれ年齢がいけば役所やどこかから何らかの知らせがあるのでは…とばくぜんと考えていた。実際に何かある人必要性を感じてるのみが積極的に自分から探しにいかなくてはいけない。これでは町・市・県すべての人が人まかせになっている。今何があるのか、いつから利用出来るのか、どこにあるのか等も、と発信してもらいいずれ若者が高齢になった時、自分が必要になった時に探すのではなく、どこへ何をすれば良いのかわかっているように全体・全員の解かしが大切だと思う。

- ◆ 介護をしている人が、追いつめられない様に！
- ◆ 在宅医療、福祉担当セクションのレベルアップと、最新の情報、知識の収集、スピーディな処理能力、旧態然とした市職員の入換。
- ◆ 市政に関して一言申しあげます。バスに乗るとき、ステップに手をかけてあがる人や杖について長時間かけて乗る人が目につきます。冬期間は、寒空にバス停で長くバスを待ち、やっとのことでバスに乗る人を見ると何とかできないかと考えます。計画によると市の中心部や医療機関に行くために、何回も乗り換えを迫られる交通体系の整備とはいったい誰のためのものなののでしょうか。市が民間事業者に過度の干渉した結果がこのありさまとは残念です。
- ◆ ・西区は子育て世帯も多いのに利用できるサービスが追いついていない。保育園が不足しているのももちろんだが、来年度から認定こども園の数が増え、幼稚園単独のところも1ヵ所のみとなる。人気の幼稚園に保育園の役割もある認定こども園に仕事を続ける世帯がたくさん来られると、妻（母）が働けない世帯は保育園にも幼稚園にも通えない状況がでる可能性も高くなると思う。通園できない状態でも利用できる託児所がないので、1才未満の子どもを預けざるを得ない場合は非常に困る。通園できない時のサービスをもっと充実させてほしい。 ・小学校、中学校の長期休暇の期間を地域に知らせてほしい。気をつけて見るように意識できるし、車の運転にも気をつけることができる。
- ◆ 5も含めて「市役所」が一番行きやすい。
- ◆ 若者への道徳の教え

#### 問 24-1 の「その他」の内容

- ◆ サービスを利用しやすい体制づくり
- ◆ 長岡市くらいになってほしい
- ◆ 他の団体との連携した事業転回、同じ様な事業があるので中途半端
- ◆ お金の教育を行う（セミナー、投資等）（小学生にもお金の教育を行うこと）だまされなれないために。
- ◆ 話し合うだけで、きめ事だけしかない活動は、組織としてお金だけつかうだけで、市民に知られていないし、意味がないので、話し合うより、さっさと形として行動するように
- ◆ 学生ボランティアの人材育成
- ◆ 社会福祉協議会の活動が目に見えない
- ◆ どうぞ勝手にやって下さいと言いたいが支援する人間が減ってほしいわ
- ◆ 障害のある人が社会的、公的な支援を手厚く受けて、孤立せずに生活していけること
- ◆ 社協の無仕事ぶりや、結果や効果のない事業などはよく考え直さなければいけないと思っています。
- ◆ 事務的でない、物腰しのやわらかな対応。ボランティアに対して、上から物を言うような一部の職員の方は、態度をあらためて頂きたいです。
- ◆ 職員の天下り組織にならない協ギ会を望む。
- ◆ 活動内容がわからないので回答できません。
- ◆ 具体的な活動内容を知らないなので、お答えできません。
- ◆ 学童保育を小学校卒業まで運営してほしいと思います。

- ◆ 具体的にどの様な活動をしている組織かアピールすべき。
- ◆ 具体的な活動が分からないことから期待することは？できれば行政が住民のためにしてやっているのだという仕事はなしにしてもらいたい
- ◆ 介護保険制度の有料支援との違いが分からない
- ◆ 市民の声を持つ市からの声かけ
- ◆ まい年、金だけは自治会でまわって来るけどそれがぎむのように出していますがそれい上わからない
- ◆ ひまわりクラブの充実。保育期間の延長が必要。小学 4 年生からの放課後、長期休業時のフォローが必要。共働き家庭が多いのです。
- ◆ 具体的な活動を知らないのでコメント出来ない。
- ◆ 地域の住民が個々の時間に合った又自由に集える場所の提供、茶の間、サロンなどを希望しています。
- ◆ まずその協議会の組織の内容を多くの人に知ってもらう
- ◆ 他に追随するのではなく、新しい事への独自の創造力とリーダーシップが取れる様に。